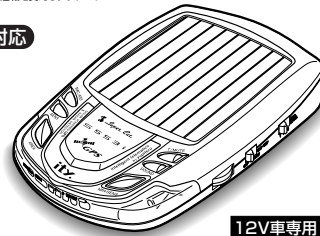
保 証 書（持込修理）

本書は、本書記載内容（裏面記載）で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番	S553i
S/No.	

お買い上げ年月日	保証期間	対象部分 機器本体（消耗部品は除く）
年　月　日		お買い上げの日から1年

お客様	お名前	様
	ご住所	〒 TEL（　　）
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

ユピテル工業株式会社
〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33

※この印刷物は、環境にやさしい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。

6SS0803

ダウンロード対応

12V車専用

ity.
intelligent telematics by yupiteru

ity.（アイティ）…それはカーライフに快適でインテリジェント（intelligent）な情報を提供するテレマティクス（telematics）という新しい技術 ―― ユピテルから

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機は、スピード取締り機の存在を前もってお知らせする受信機です。

⚠注意

この説明書をよくお読みのうえ、安全運転のよきパートナーとして正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

GPSアンテナ一体型コードレスレーダー探知機

S553i 取扱説明書

目次

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。

つづく

⚠警告

機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。

運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。

バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。

サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

医用電気機器の近くでは使用しない…植込み型心臓ペースメーカや、その他の医用電気機器に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠警告

シガープラグコード接続時

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよくふく…接触不良を起こして火災の原因となります。

シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。

ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。

表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

助手席エアバックの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバックが正常に動作しないことがあります。

⚠注意

本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。

車から離れるときは、電源を切る…本機はオートパワーOFF機能を搭載していますが、使用しないときは電源を切ってください。また、シガープラグコードを接続している場合は、エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。

シガープラグコード接続時

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。

お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。

ご使用にあたって

■周辺の環境によっては、GPSの測位に誤差が生じることがあります。

■走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。

■一部の車種に採用されている金属コーティングの断熱ガラスのなかには、電波の透過率が低いため衛星からの電波を受信しにくく、GPS測位ができない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなることがあります。

本機を使用中のスピード違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

主な特長

1 ity. intelligent telematics by yupiteru

ity.(アイティ)…それはカーライフに快適でインテリジェント(intelligent)な情報を提供するテレマティクス(telematics)という新しい技術――――ユピテルから

ユピテルのインテリジェント(intelligent)なテレマティクス(telematics)技術により、単なるレーダー探知機に留まらない、快適なカーライフのための情報提供機器へと進化させる高次元なサービスです。そして、まずダウンロードから始まった。

*テレマティクス…通信(テレコミュニケーション)と情報処理(インフォマティクス)の組み合わせによる造語で、クルマにおけるインターネット接続関連のITサービス。
Telematics = Telecomunication + Informatics

2 ダウンロード対応 [特許出願中]

携帯電話(※)を使って、ダウンロード対応レーダー探知機のGPSデータをダウンロードし、オービスやNシステムなどの設置ポイント、速度取締りや検問などのゾーン警告の登録ポイントを更新することができます。ダウンロード・アダプターはity.クラブに入会すると、送られてきます。(詳しくは商品に同梱の「ユピテル ity.クラブ」申込書を参照願います。)
ご契約中は、何度でもダウンロードできます。(携帯電話の通話料はお客様のご負担となります。)

※携帯電話の機種によっては、サービスをご利用頂けない場合がございます。あらかじめご了承願います。

3 GPS測位機能

GPSにより、ループコイル式オービスやLHシステムも、ボイスで警告。

① **GPSパワーセーブ** [特許出願中] … 業界初、GPSカスタム・モジュールにより、ロングライフ100時間達成！

② **GPSボイス警告** [特許出願中]
『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に高速道(一般道)○○○式オービスがあります』
- オービス識別ボイス … ループコイル式・LHシステム・Hシステム・レーダー式とオービスの種類を識別。
- 方向識別ボイス … 走行車線のオービスのみボイス警告。更に、進行方向に対して約25°以上のときは、その方向(右または左)を識別。
- 高速/一般道識別ボイス … オービスの設置道(高速道または一般道)を識別。

③ **トンネル出口警告** [特許出願中]
『ポーン トンネルの出口付近に高速道(一般道)○○○式オービスがあります』

④ **GPSゾーン警告&圏外通知** … 過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)ゾーンを予めメモリー。そして、ゾーン接近時/突入時/圏外の3段階でお知らせ。
『ポーン 右(左)方向1km先に高速道(一般道)トラップ(チェックポイント)ゾーンがあります』
『ポーン 右(左)方向に高速道(一般道)トラップ(チェックポイント)ゾーンです ご注意ください』
『ポーン トラップ(チェックポイント)圏外になりました』
※トラップやチェックポイントは常に行われているとは限りません。

⑤ **交通監視システム告知**
『ポーン 右(左)方向すぐ先に一般道交通監視システムがあります』

⑥ **NシステムGPS告知** …『ポーン右(左)方向すぐ先に高速道(一般道)Nシステムがあります』

⑦ **マイ・エリア警告**(30ヵ所登録可)
『ポーン 右(左)方向1km(500m)先にセットしたエリアがあります』

⑧ **MSC/ミニマムセンス制御**(30ヵ所登録可) [特許出願中] … 任意登録の不要警報エリア内での、レーダー警報レベルを最低に制御。

⑨ **GPS色別警報** … GPS警報時は青、レーダー警報時は赤と、色を変えて点滅。

⑩ **フレックスディマー** … 地域・季節・時刻に応じて、ランプ類が自動的にライトダウン。

4 ハイブリッド・モード [特許出願中]

シガープラグコードを接続すると、GPS測位機能がグレード・アップ。

① **オービス・ポイント直前告知** …『ポーン』と通過直前に音でお知らせ。

② **AAC/不要警報カット** … 時速40km以下で走行中または停車中の不要な警報をカット。

③ **ASS/最適感度選択** [特許 第3051676号] … 時速40km以上はスーパー感度、60km以上はエクストラ感度、80km以上はスーパーエクストラ感度と最適感度を自動選択。

5 デジタル無線・取締無線＆カーロケ帯 トリプル識別 受信機能

① **トリプル色別警報** … デジタル無線は水色、取締無線は緑、カーロケ無線は紫で点滅。
② **音声受信** … 159〜160MHz帯のデジタル無線、350.1MHz取締り現場無線、407.7MHz帯のカーロケ無線の音や声を識別受信。
③ **ボイスガイド** …『ピピッピッ　デジタル無線を受信しました　ご注意ください』
『ピピピピッ ピピピピッ　受信しました　ご注意ください』(取締無線受信時)
『ピッピピッ　1km以内(すぐ近く)のカーロケ無線を受信しました　ご注意ください』

6 カーロケ遠近識別＋圏外ボイス通知［特許出願中］

① **カーロケ遠近識別** … カーロケ無線の発信元の遠方または近接を識別。
『ピッピピッ　1km以内(すぐ近く)のカーロケ無線を受信しました　ご注意ください』
② **圏外ボイス通知** …『ピッピピッ ピーピッ　カーロケ無線が圏外になりました』
※ 実際には、停車中などで近くにいる場合もありますので、目安としてお考えください。

7 ベスト・パートナー機能［特許出願中］

種々の無線の受信状況からシミュレーションし、
快適ドライブのベスト・パートナーとして、タイムリーに的確にアドバイスします。
『ピッピピッ　スピード注意』 … 並走・追尾など周囲に注意してください。
『ピッピピッ　ピ〜ピッ　クロスしました』 … リラックスを促す合図です。
『ピッピピッ　ピピピピッ　トラップシグナル』 … 取締りなどに注意してください。
『ピッピピッ　ピピッピッ　チェックポイントシグナル』 … 検問などに注意してください。

8 S-EXTRA/スーパーエクストラ感度 ☆☆☆☆☆

衛星技術を応用した探知距離2倍（当社比）の超最高感度。
●Wスーパーヘテロダイン … スイープオシレーター式超高精度受信方式 ●フリップチップinアンテナ［特許 第3229564号］●X/Kツインバンド ●後方受信

9 *i DSP* integrated Digital Signal Processing Technology

統合的デジタル信号処理技術(*i* デジタル)により、超高精度識別を実現。
① **ボイス識別** ●新Hシステム識別［特許 第3326363号・第3428531号］●ステルス識別
② **GPS排除**［特許 第3044004号・第3160272号］

10 レーダーアラーム機能

●ボイスアラーム … 『ピンポン ピンポン』『ご注意ください』『危険です』 ●オケメロ&ボイスアラーム … オケメロ𝄞「くるみ割り人形」＋『ご注意ください』 ●Wアラーム方式 ●接近テンポアップシステム ●ミュートボタン

11 自動制御機能

●お知らせボイス … 『スーパーエクストラモードです』『自動感度モードONです』他。●MAC/不要警報カット［特許 第3121768号］ ●ASS/最適感度選択［特許 第3051676号］ ●オートディマー ●オートクワイアット ●オートパワーON/OFF ●ローバッテリー警告 … 『シガープラグコードを接続しバッテリーを充電してください GPS機能が休止します』

12 その他

●ロングライフ100時間 [特許 第2075785号] ●脱着式ニッケル水素電池 ●バッテリー残量表示 ●フレキシブル・ブラケット [特許出願中/意匠 第1186189号]

各部の名称と働き

(つづく)

レーダー操作部

レーダー波アンテナ（前面）
取締りレーダー波を受信します。

DCジャック[DC12V]（12V車専用）
付属のシガープラグコードを接続します。（16ページ）

電源スイッチ[PWR]
ONにすると電源が入ります。（24、36、44、48ページ）

MAC/ASSボタン[MAC/ASS]
MACシステムの設定/解除ができます。MACシステムをONに設定すると、自動的にASS機能が働きます。（27ページ）

受信感度セレクトボタン[SENS]
MACシステムを解除しているときは、走行環境や条件に合わせて受信感度が選べます。（26ページ）

パイロットランプ[PWR/MAC]
電源が入ると点滅します。また、警報の状態をランプの色で表示します。（24、27、29、56ページ）

感度ランプ[SENS]
受信感度をランプの色で表示します。（26、29、56ページ）

アラームランプ
取締りレーダー波を受信すると赤く点滅し、GPSの電波をサーチ中またはGPSによる警報中は青く点滅します。（31、43、45、49、51、54ページ）
また、ダウンロード中は青く点灯します。

MACレベルスイッチ[MAC LEVEL]
MACシステムの振動の検出感度の調整ができます。（28ページ）

UHF/VHFスイッチ[UHF/VHF]
トリプル識別受信機能の設定/解除および動作モードを選べます。（38、41ページ）

音量ツマミ[VOL]
警報音の音量調節ができます。（24ページ）

テスト&ミュートボタン[T/MUTE]
警報音の確認やミュート機能を使うときに押します。（24、25、30ページ）

警報音セレクトボタン[SOUND]
警報音が選べます。（25ページ）

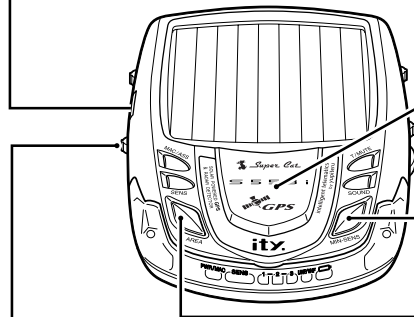
バッテリーランプ［ ］
テスト&ミュートボタンが押されている間はバッテリーの残量を表示し、バッテリーが消耗してくると点滅します。（18、19ページ）

UHF/VHFランプ
159～160MHz帯の電波を受信したときは水色、350.1MHzのときは緑色、407.7MHz帯のときは紫色に点滅します。（39、40ページ）

シグナルメーター[1−2−3]
受信している取締りレーダー波の強さに応じて、点灯が1から3へ増えていき、3に達すると、すべてが点滅します。（31ページ）

つづく

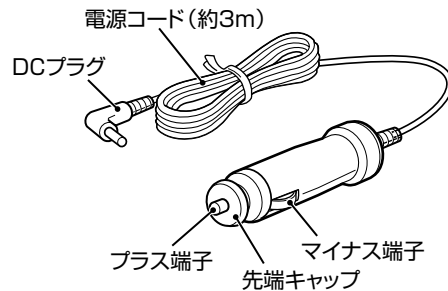
GPS操作部

アダプタージャック[DOWNROAD]
ダウンロード・アダプターを接続します。
DOWNLOAD
コネクターキャップを開けて、ダウンロード・アダプターのミニコネクターを差し込みます。

GPSアンテナ部
GPS衛星からの電波を受信します。

ミニマムセンスボタン[MIN-SENS]
不要な警報を制御したいエリアを登録するときに押します。（48、52、53ページ）

マイ・エリアボタン[AREA]
自分の登録したいエリアをメモリーするときに押します。（50、51ページ）

Nシステムスイッチ[N SYSTEM]
GPS告知機能の設定/解除ができます。（48ページ）

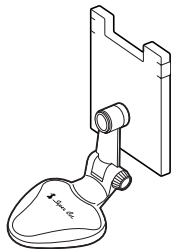
シガープラグコード

各部の名称と働き

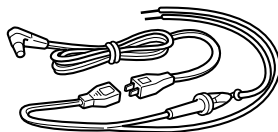
付属品

■ご使用前に付属品をお確かめください。

●専用ニッケル水素電池(1)

● シガープラグコード(1)
● 吸着盤(2)
● マジックテープ(1)
● 取扱説明書・保証書(1)

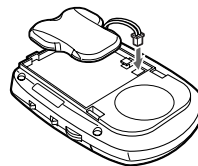
●フロントガラス/ダッシュボード兼用ブラケット(1)

別売品のお知らせ

▮電源直結コードOP-4(約4m)
1,575円(税込)
シガーライターソケットを使わずに、アクセサリー系端子から直接電源をとることができます。

▮交換用ニッケル水素電池
2,100円(税込)
本電池は本機専用です。

電源について

ソーラーバッテリーからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続する

本体底面のソケットにコードのプラグを差し込みます。

本機はソーラー電卓などと違い、ソーラーバッテリーのみでの駆動はできません。専用の充電池を接続して、初めて正常に動作しますので、必ず接続してください。ソーラーバッテリーは専用の充電池を補充電するためのものです。

2 ソーラーバッテリーに太陽光がよく当たる場所に取り付ける

駐車するときは、ソーラーバッテリーに直射日光がよく当たるように、南向きに駐車するように心がけてください。効率の良い充電ができます。

本機はシガーライターソケットからの充電・使用に加え、走行中や駐車中でも、ソーラーバッテリーによる太陽光からの充電ができます。
ただし、初めてご使用になるときは、電源スイッチをONにして、付属のシガープラグコードを接続し、必ず合計10時間(例 1日2時間で5回)以上、走行しながら充電してください。GPS測位は、電流を多く消費するため、電池の消耗により測位できないことがあります。また、特に初めてのときなど、地理的状況により測位に20分以上かかることがあります。障害物や遮へい物などのない視界の良い場所に移動し、車を停車して行ってください。

※オートパワーOFF機能(18ページ参照)により、振動のない状態が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れますので、測位するまでの間は、3分以内に振動を与えて電源が切れないようにしてください。

本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブ/ロングライフ設計および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては電池の消耗が早くなることがあります。

※通常は、シガープラグコードを接続せずに使用できます。

つづく

ソーラーバッテリーからの充電のしかた（つづき）

充電は電源スイッチのON/OFFに関係なくできます。

満充電から無警報の状態で、約100時間※の連続使用ができますが、薄曇りなどの天候が続き、ソーラーバッテリーからの充電が充分できなかったり、GPS測位の状況によっては、バッテリーの消耗が激しく、100時間以内にローバッテリーアラーム(バッテリーランプが赤色に点滅)の状態になることがあります。

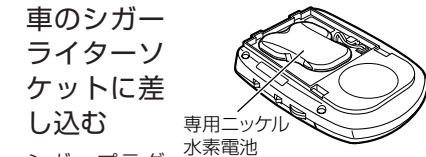
※連続使用時間は、各種機能の設定状態により異なります。

付属の専用バッテリーには寿命があります。充電が充分できなくなったら、新しいものと交換してください。(寿命の目安としては、約3～5年ですが、3年以内でも劣化することがあります。)

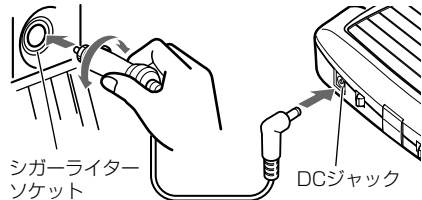
交換については、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

シガーライターソケットからの充電のしかた

1 付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、付属のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

専用ニッケル水素電池

シガープラグは、2、3回左右にひねりながら差し込みます。

シガーライターソケット

DCジャック

2 10時間(例 1日2時間で5日)以上使いながら充電した後、シガープラグコードを抜いてテスト&ミュートボタンを押し、バッテリーランプが緑色に点灯することを確認する(19ページ参照)

警告

助手席エアバックの妨げとなる場所に配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

- 本機はDC12V(マイナスアース)車専用です。
- シガープラグコードで充電する場合、ローバッテリーアラームが鳴った状態から、約10時間でフル充電できます。
- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いてお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意し、順序を合わせて入れてください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、別売のOP-4を使用してください。(14ページ参照)

はじめに

■オートパワーON/OFF機能について

アイドリングなどの振動の少ない状態(停車中)や、エンジンを切ったときなど振動のない状態(駐車中)が約3分間以上続くと、自動的に電源が切れます。また、振動を検出すると電源が入ります。

※ 振動や騒音の激しい場所では、わずかな揺れを検出して電源が切れないことがあります。
使用しないときは電源スイッチで電源を切ってください。

※ 走行中でも、低速走行や一時停止など、振動を検出できない状態が約3分間続いた場合にはオートパワーOFF機能が働きます。

冬期は、日照時間やソーラーバッテリーの性能上、充電しにくく、バッテリーアラーム表示がひんぱんになる場合があります。このようなときは、シガープラグコードを使用し、こまめに充電してください。

バッテリー表示機能について

■ローバッテリー表示について

初期充電不足や太陽光が当たらない条件下での使用が続きバッテリーが消耗してくると、バッテリーランプが点滅し、『ポーン シガープラグコードを接続し　バッテリーを充電してください　GPS機能が休止します』とボイスでお知らせします。

バッテリーの状態	バッテリーランプ
バッテリーが消耗し、充電が必要な状態 (GPS測位機能は動作しなくなります)	赤色点滅 ポーン シガープラグコードを接続し、バッテリーを充電してください。GPS機能が休止します。 ボイスでお知らせします。
バッテリーが消耗し、すぐに充電が必要な状態 (GPS測位機能およびレーダー探知機能のどちらも動作しなくなります)	赤色点滅 ピピピッ ピピピッ ピピピッ …… ローバッテリーアラームが鳴ります(約1分間)

• 日中はバッテリーランプの赤色の点滅が見えにくい場合がありますので、ご注意ください。

■バッテリーの残量表示について

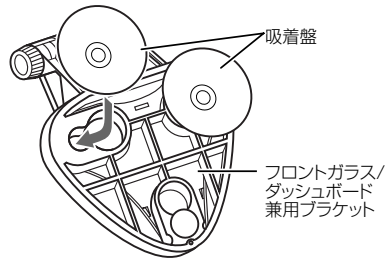
シガープラグコードを抜いた状態でテスト&ミュートボタンを押している間、バッテリーの残量の状態を表示します。

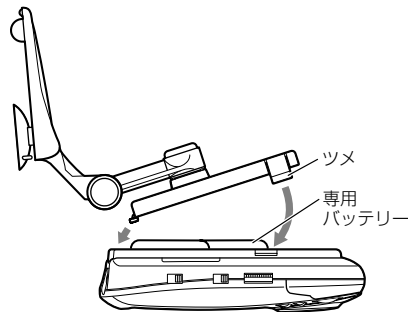
バッテリーの状態	バッテリーランプ
残量が充分な状態	緑色点灯
少し消耗した状態	オレンジ色点灯
充電が必要な状態 (GPS測位機能は動作しなくなります)	赤色点灯

• シガープラグコードをDCジャックに差し込んだ状態では、バッテリーの残量表示はしません。
• 電源を入れても、数分間はバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。
• 温度が極端に高いところまたは低いところでは、バッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

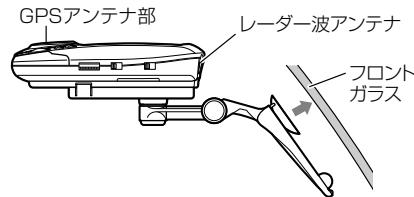
フロントガラスに取り付ける

GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界のよい場所に取り付けてください。

1 フロントガラス/ダッシュボード兼用ブラケットに、吸着盤を取り付ける

2 ブラケットを本体に取り付ける

コードを挟まないように注意して閉めます。

ブラケットを取りはずすときは、両側のツメを押しながら、引き上げてはずします。

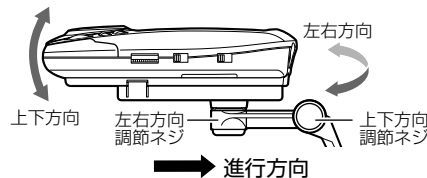
3 フロントガラス下部に貼り付ける

吸着盤に水などをつけて、フロントガラスの中央下部のGPSの電波を受信しやすい場所に貼り付けます。

GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないように取り付けます。

⚠警告

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

4 道路に対して、本体を水平にする

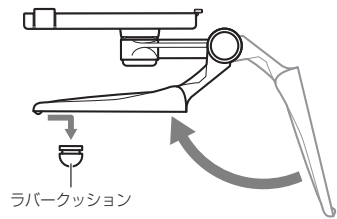
アンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整します。

⚠注意

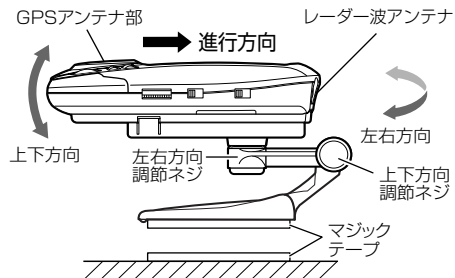
取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

取り付けかた

ダッシュボードに取り付ける

1 ブラケットからラバークッションをはずす

- GPSアンテナ部の上やレーダー波アンテナの前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。
- 使用中、本体が傾くような場合は、ネジの締め付けを行ってください。

2 付属のマジックテープで貼り付け、本体を道路に対して水平に、またアンテナが進行方向(前方)を向くように、角度を調整する

- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。

⚠警告

エアバックの上に取り付けないでください。万一のとき動作したエアバックで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。

⚠注意

取り付けは確実に行ってください。落ちたりして、ケガの原因となります。

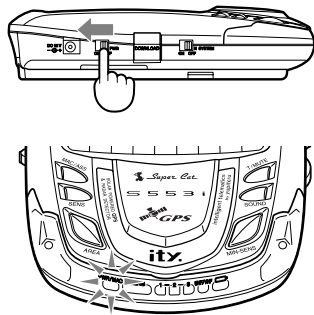
上下方向の角度を調節するときは、必ず上下方向調節ネジをゆるめてから行ってください。破損の原因となります。

音量/警報音/受信感度を設定する

設定は、必ず停車中にパーキングブレーキを確実にかけて行ってください。

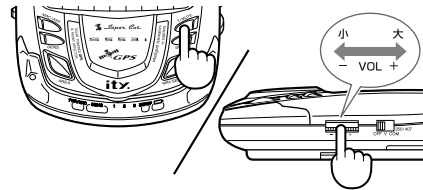
つづく

1 電源を入れる

電源スイッチをONにします。

ターン・オン・ビープ(🔊ピロッピロッ…)が鳴り、パイロットランプが点滅します。

- トリプル識別受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(38ページ参照)

2 音量を調節する

テスト&ミュートボタンを押しながら、音量ツマミを回します。

テスト&ミュートボタンを押す前から警報機能が働く場合は、近くで発信されている取締りレーダー波と同じ電波を受信しているためです。この状態でボタンを押すと、ミュート機能が働き、警報音が止まります。(30ページ参照)

テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、警報音(電子音、オケメロまたはボイス)を確認することができます。

一旦テスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押すと、次の手順で警報音や音声の確認ができます。

警報音(電子音、オケメロまたはボイス)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

『ステルスです』『Hシステムです』

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

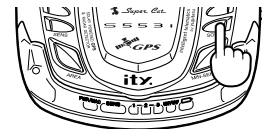
『ピピピピッ ピピピピッ 受信しました ご注意ください』
『ピッピピッ 1km以内のカーロケ無線を受信しました ご注意ください』
『ピッピピッ すぐ近くのカーロケ無線を受信しました ご注意ください』
『ピピッピッ デジタル無線を受信しました ご注意ください』
(UHF/VHFスイッチがボイスモードのとき)

↓ 1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す

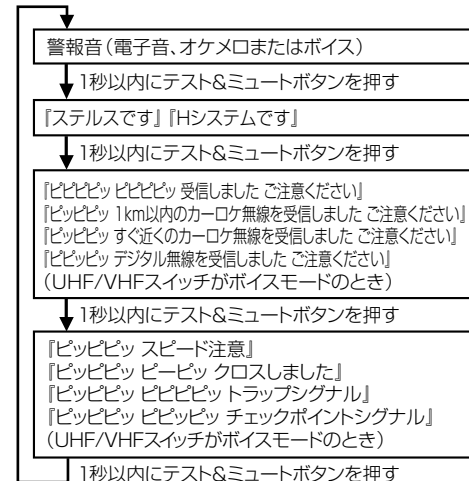
『ピッピピッ スピード注意』
『ピッピピッ ピーピッ クロスしました』
『ピッピピッ ピピピピットラップシグナル』
『ピッピピッ ピピッピッ チェックポイントシグナル』
(UHF/VHFスイッチがボイスモードのとき)

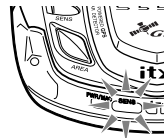
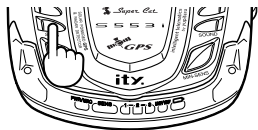
1秒以内にテスト&ミュートボタンを押す(最初に戻る)

3 警報音を選ぶ

警報音セレクトボタンで切り換えます。

→「メロディモードです」
↓
「ボイスモードです」
↓
「電子音モードです」

ボタンを押すたびに、ボイスで確認できます。

- **オケメロ&ボイスアラーム**
  「メロディ」に設定すると、𝄞「くるみ割り人形」に続けて『ご注意ください』とボイスでアラームします。
- **ボイスアラーム**
  「ボイス」に設定すると、『ピンポン ピンポン』のあとに、『ご注意ください』『危険です』とボイスで警報します。

4 受信感度を選ぶ

受信感度を変えるときは、MACシステムがOFF(解除)のときに(右ページ参照)、受信感度セレクトボタンを押して切り換えます。

ボタンを押すたびに、ボイスと感度ランプで確認できます。

→「シティモードです」(赤色)
↓
「ハイウェイモードです」(緑色)
↓
「スーパーエクストラモードです」(青色)

※ MACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、ASS(最適感度選択)モードからスーパーエクストラモードとなります。 再度押すと、ASSモードに戻ります。

『スーパーエクストラモードです』(青色)
⬇ ⬆
『スーパーエクストラモードOFFです』

受信感度について

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じほかの電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

■受信感度の切り換え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラモード	高速道路
↑	ハイウェイモード(エクストラ感度)	郊外や高速道路
低い	シティモード	市街地

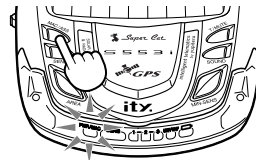
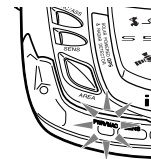
MACシステムの使いかた (シガープラグコードを接続していないとき) (つづく)

※シガープラグコードを接続しているときは、「ハイブリッド・モードについて」(54〜55ページ)を参照願います。

MACシステムは、内蔵のモーションセンサーが走行中のロードノイズなどの連続的な振動を検出して、走行中か停車中かを判断し、警報を制御します。[MAC/不要警報カット：特許 第3121768号]
MACシステムはOFF(解除)の状態では、電波を受信すると常に警報音が鳴ります。

1 アイドリング中に電源をONにする

2 MAC/ASSボタンを押してONにする

パイロットランプが赤色または緑色の点滅の時は、ON(設定)の状態です。
パイロットランプがオレンジ色の点滅のときは、OFF(解除)の状態ですので、MAC/ASSボタンを押してONにします。

MAC/ASSボタンを押すたびに、MACシステムのON/OFFが切り換わり、ボイスでお知らせします。

ON(設定)
『自動感度モードONです』
赤色または緑色の点滅
⬇ ⬆
OFF(解除)
『自動感度モードOFFです』
オレンジ色の点滅

3 動作を確認する

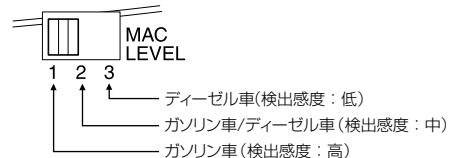
走行しはじめて、数秒後にパイロットランプが緑色の点滅になり、停車すると、数秒後に赤色の点滅になります。

4 調整する

手順3で正しく動作しない場合は、MACレベルスイッチを切り換えてください。(28ページ参照)

MACレベルスイッチについて

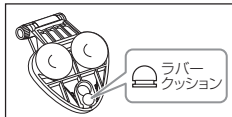
MACシステムは、走行中のロードノイズなどの連続的な振動と、停車中のアイドリングなどによる振動の種類や大きさの差を検出し、動作します。ご使用になる車種や走行状況に合わせてMACレベルスイッチを切り換え、振動の検出感度を設定してください。

■MACレベルスイッチの設定目安

目安として、速度が約30km/hになるまでに、パイロットランプが緑色の点滅になる位置にしてください。

MACの働きによりパイロットランプが赤色に点滅中は警報しません。（取締りレーダー波を受信しません）

- 振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。

MACシステムを使用しない場合はMACレベルスイッチは1に設定してください。

- エアコンを使っているときや、カーオーディオなどの音量が高いとき、ワイパーを使用しているとき、エンジンをかけた直後（エンジンが安定するまで）などは、MACシステムが正常に働かないことがあります。
- MACシステムがON（設定）で、警報をカットしている状態（パイロットランプが赤色の点滅）でも、トリプル識別、ベストパートナー機能そしてGPS測位機能は働きます。
- MACレベルスイッチを切り換えても、振動を検出しにくい場合は取り付けかたや取り付け場所を変えてみてください。またフロントガラスに取り付けてご使用の場合で、MACレベルスイッチを切り換えても正常に働かない（高速走行中でもパイロットランプが緑色の点滅にならない）ときは、ラバークッションをはずしてみてください。

ASS機能について

パイロットランプの点滅色と警報動作

MACシステムをON（設定）にすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行時間の経過に応じて受信感度が自動的に変化します。［ASS/最適感度選択：特許 第3051676号］

	車の状態	停車	走行中（MACレベルスイッチの設定に応じた既定の振動を超えたとき）				停車
MACシステムON（設定）時	パイロットランプ	赤色点滅 → 数秒	緑色点滅			数秒	赤色点滅
			約20秒	約60秒	約120秒	それ以降	
	感度ランプ	赤色点滅		オレンジ色点滅	緑色点滅	青色点滅	赤色点滅
	スーパーエクストラモード選択時	青色点滅					
	警報状態	警報しない	警報する				警報しない
	受信感度		シティモード	ハイウェイモード		スーパーエクストラモード	
				スーパー感度	エクストラ感度		
MACシステムOFF（解除）時	パイロットランプ	オレンジ色点滅					
	感度ランプ	マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点滅。シティモード（赤色）/ハイウェイ（エクストラ感度）モード（緑色）/スーパーエクストラモード（青色）					
	警報状態	警報する					
	受信感度	マニュアルモードで設定した受信感度					

警報中は音による振動を感知し、低速走行や、停車しても警報が続くことがあります。このとき、警報をカットする場合は、テスト&ミュートボタンを押してください。（30ページ参照）

便利な機能について

オートクワイアット/ディマー機能

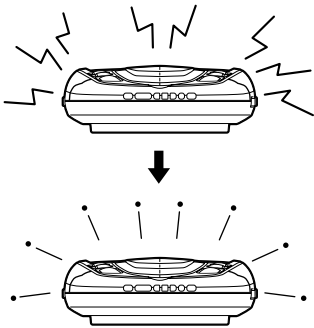
レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなり、アラームランプなどのランプ類も暗くなります。

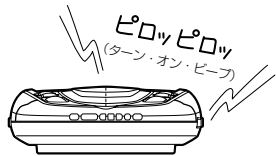
後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができたら

警報中にテスト＆ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

ターン・オン・ビープ

電源スイッチを入れたときや、オートパワーON機能により電源が入ったとき、確認音が鳴り、電源が入ったことをお知らせします。

- バッテリーが消耗しているときは、ターン・オン・ビープのあと、しばらくしてからローバッテリーアラームが鳴ります。
- トリプル識別受信機能を設定しているときは、『ピロッピロッ』のあとに『ピピピピッ』と鳴ります。(38ページ参照)

レーダー警報機能について

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。

Wアラーム方式

音(電子音/オケメロ＆ボイス/ボイス)と光(アラームランプ/シグナルメーター)のダブルで警報します。

接近テンポアップシステム

各警報は、取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	遠い → 近い
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
アラームランプ	点滅速度が変化します。
シグナルメーター	左から右へ点灯数が増し、右端へ達したあとに、すべてが点滅します。 1 − 2 − 3

- オケメロ＆ボイスアラームはテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。(オートクワイアット/ディマー機能)

iDSPについて

本機はiDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal Processing Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」や、新Hシステムの「種類の異なる電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して『ステルスです』または『Hシステムです』とボイスでお知らせします。**[ステルス識別]/[新Hシステム識別：特許 第3326363号・第3428531号]**

またカーナビからのGPSのモレ電波など妨害電波は、的確に識別し、誤警報を排除しています。さらに、温度変化などによる周波数ズレを自動補正しています。**[GPS排除：特許　第3044004号・第3160272号]**

※ iDSPを解除することはできません。

※ iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応というわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

ボイス識別

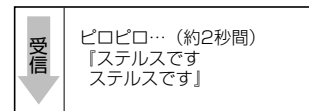
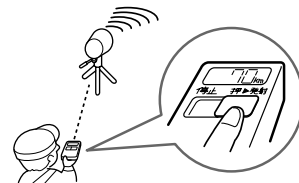
ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。
このため、従来機ではステルス波の識別警報はできませんでした。

- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ボイスでステルス波の識別警報することがあります。
- オケメロ＆ボイスアラームを選んでいるときでも、ステルス型取締り機や新Hシステムの電波を受信するとボイスでステルス波の識別警報します。

<ステルス波を受信したとき>

●専用のボイスでお知らせします。

ピロピロ…（約2秒間）
『ステルスです
ステルスです』

5秒以上受信が続くと、警報音セレクトボタンで選んでいる通常の警報音に変わって警報します。

ボイス識別

新Hシステムについて

電波を用いる自動速度取締り機(オービス)の一種ですが、他のオービスとは種類の異なる電波(周波数は同一)を使用しているため、従来機では探知(受信)しにくくなります。
ただし、このシステムでは証拠の記録をする前に、電光掲示板で「速度オーバー」や「速度超過」などの警告がありますので、これらの警告を見かけたら注意してください。

※ 電光掲示板による警告がない場合もありますので、ご注意ください。

<新Hシステム波を受信したとき>

●はじめは選んでいる通常の警報音(ボイス、オケメロ&ボイス、電子音)が鳴りますが、識別するとボイスでお知らせします。

受信	通常の警報音 (ボイス、オケメロ&ボイス、電子音)
識別	ピロピロッ 『Hシステムです』 ピロピロッ 『Hシステムです』…… (受信している間、繰り返し警報します。)

GPS排除について

カーナビゲーションの中には、取締りレーダー波と同一周波数帯の電波を漏洩しているものがあります。従来機では、これが原因で警報が鳴りっぱなしになることがありましたが、この電波を安易に排除すると、肝心の取締りレーダー波に反応しないという、相反する問題がありました。
本機では、取締りレーダー波にはしっかり反応するよう、取締りレーダー波や自動ドアの電波とのわずかな違いを的確に識別することにより、GPSの漏洩電波のみを自動排除し、誤警報を防止しています。**(自動識別&排除設定機能)**
さらに、自動設定後も、一定の間隔で排除設定の内容および温度変化などによる周波数変動の状態を常にチェックし、変化があれば自動的に補正し、誤警報を排除しています。
(自動補正機能)
[特許 第3044004号・第3160272号]

カーナビゲーションからの影響を排除している場合、受信している電波の識別判定がしにくく、新Hシステムやステルス波に対しても通常の警報音となる場合があります。

自動ドアなど、常に電波の出ている場所でエンジンを始動すると、GPSを排除できない場合があります。このようなときは電波の出ていない場所に移動して、再度、本機の電源スイッチを入れ直してください。

一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。

トリプル識別受信機能の使いかた

1 159～160MHz帯デジタル無線受信機能について

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

≪デジタル無線のON/OFFのしかた≫

放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、デジタル無線の受信状態になることがあります。こんなことがひんぱんに起こる場合、デジタル無線の受信機能だけOFF(切)にすることができます。

① 一旦、電源スイッチをOFFにする。
② MAC/ASSボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。

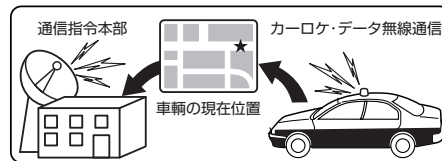
※ON⇔OFFが切り換わり、それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

2 350.1MHz取締無線受信機能について

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線で連絡が行われることがあります。
350.1MHz取締無線受信機能は、このような取締りに威力を発揮します。

※ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いたアナログ方式の無線の他に、通話内容をコード化したデジタル方式や有線方式もあり、受信しても内容が分からなかったり、受信自体ができない場合もあります。
※ カーオーディオやカーナビゲーションなどの影響により、ボイスでお知らせしたり、受信状態になることがあります。あらかじめご了承願います。

3 407.7MHzカーロケ帯受信機能について

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。
カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度･経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。
このように、事前に察知することにより、緊急車輌の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。

- 移動局によっては、カーロケーターシステムが搭載されていない場合がありますので、移動局が近くにいても受信できない場合があります。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

トリプル識別受信機能について

これら、デジタル無線、取締無線、そしてカーロケ帯の3種類の電波を受信した時に、トリプル識別受信機能により、それぞれ、どの電波を受信したのかを識別して、ボイスでお知らせします。

また、UHF/VHFランプもデジタル無線受信時は水色、取締無線受信時は緑色、カーロケ受信時は紫色とそれぞれ色を変えて点滅します。[トリプル色別警報]

（つづく）

■ カーロケ遠近識別＋圏外ボイス通知［特許出願中］

407.7MHz帯の電波を受信したとき、その発信元が遠方のときは、『ピッピピッ 1km以内のカーロケ無線を受信しました ご注意ください』とお知らせします。［カーロケ遠方受信］

また、発信元が近接しているときは、『ピッピピッ すぐ近くのカーロケ無線を受信しました ご注意ください』とお知らせします。［カーロケ近接受信］

このように、発信元の遠近を自動識別してボイスでお知らせします。［カーロケ遠近識別］

更に、［カーロケ近接受信］後の電波の受信状況により、発信元が圏外になったと思われる場合、『ピッピピッ ピーピッ カーロケ無線が圏外になりました』とボイスでお知らせします。［圏外ボイス通知］

①遠方受信　②近接受信　③圏外ボイス通知

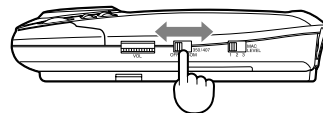
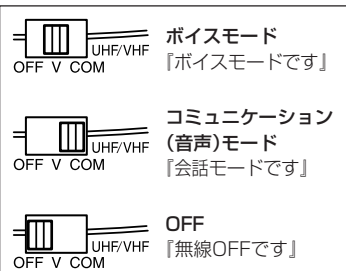
ウ～ウ～
緊急車輌かな…
『…1km以内の…』

ウ～ウ～
接近中だ！
道を空けなくちゃ…
『…すぐ近くの…』

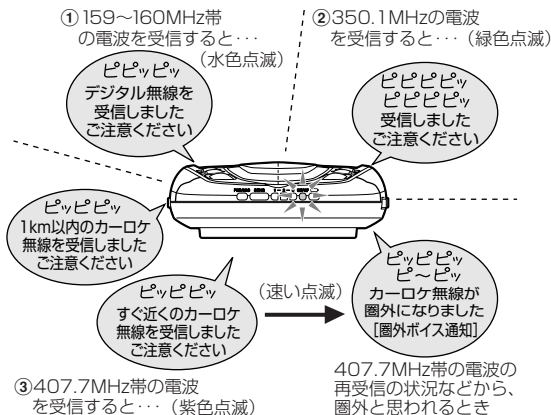
<ストレス・モード>　<リラックス・モード>

カーロケ遠近識別＋圏外ボイス通知により、
ストレスモード⇔リラックスモードのスムーズな切り換えを促し、より快適で安心な運転をアシストします。

1 設定する

UHF/VHFスイッチで動作モードを選びます。

※それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信すると

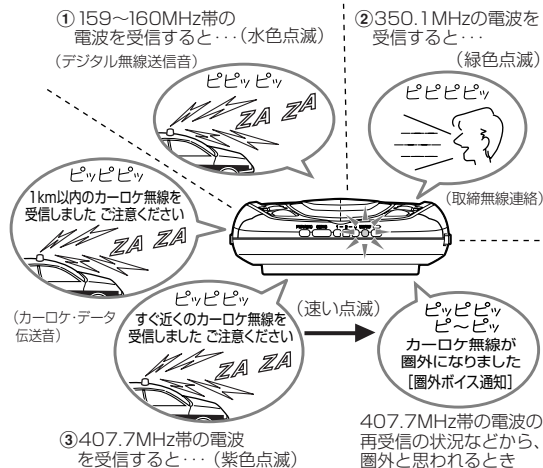
<ボイスモードのとき>

●UHF/VHFランプが点滅し、ボイスでお知らせします。

- 159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を一瞬でも受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- ボイスが鳴っているときに取締りレーダー波を受信すると、取締りレーダー波の警報音が優先されます。
- カーロケ近接受信から圏外ボイス通知までの間、UHF/VHFランプは紫色で速い点滅をします。

トリプル識別受信機能の使いかた

159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信すると(つづき)

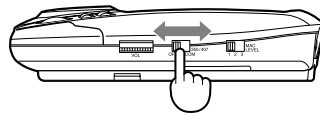
<コミュニケーション(音声)モードのとき>

●UHF/VHFランプが点滅し、受信内容を聞くことができます。

- 30秒以内にもう一度159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信しても電子音やボイスは鳴りません。受信した音声のみ聞こえます。
- 350.1MHz取締無線がデジタル方式の場合や、407.7MHz帯、159～160MHz帯の受信音は、デジタル信号音ですので、受信しても内容は分かりません。
- 159～160MHz帯、350.1MHz、407.7MHz帯の電波を受信しているときに取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- 350.1MHz取締無線の交信は数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- カーロケ近接受信から圏外ボイス通知までの間、UHF/VHFランプは紫色で速い点滅をします。

ベスト・パートナー機能について

デジタル無線、取締無線、カーロケ無線などの無線の受信状況からシミュレーションし、快適ドライブのベスト・パートナーとして、安全走行のためのタイムリーなアドバイスをボイスでお知らせします。

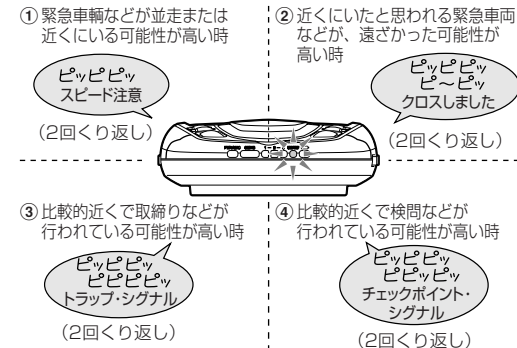
1 確認する

UHF/VHFスイッチがボイスモード、またはコミュニケーション（音声）モードであることを確認します。(38ページ参照)

- UHF/VHFスイッチがOFFの状態では、ベスト･パートナー機能は働きません。

2 確認する

デジタル無線受信機能のONを確認します。(36ページ参照)

- デジタル無線OFFの状態では、一部のベスト･パートナー機能が働きません。

種々の無線受信後のシミュレーションでお知らせすることがあると

- **ボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度が、スーパーエクストラモードとなります。**（但し、MACシステムがONのとき）

※ ボイスによるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の24個の人工衛星から発信される電波により、緯度･経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式のオービスそしてLHシステムも、ボイスで警告します。**[GPSボイス警告：特許出願中]**

また、固定設置式のオービスだけでなく、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンも予めメモリーされていて、そのゾーンへの接近･圏内･圏外を3段階でお知らせします。**[GPSゾーン警告&圏外通知]**

さらに、携帯電話を使って、オービスやNシステムなどの設置ポイント、速度取締りや検問などのゾーン警告の登録ポイントを更新する、ダウンロード･サービスも始めました。
(詳しくは同梱の「ユピテル ity. クラブ」パンフレットおよび申込書を参照願います。)
[ダウンロード対応：特許出願中]

そして、自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらず、レーダー警報が鳴るエリアを30カ所メモリーでき、そのエリアにおけるレーダーの警報レベルを最低に制御します。
[MSC/ミニマムセンス制御：特許出願中]

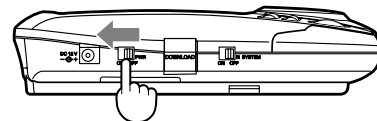
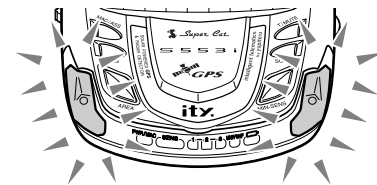
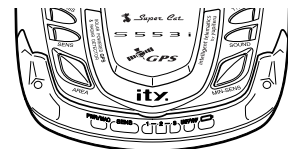
電池の消耗を防ぐ上手な使いかた

本機はGPS受信機を搭載していますので、一般のコードレスレーダー探知機に比べて、電流を多く消費するため、GPSパワーセーブ/ロングライフ設計および大容量電池を採用していますが、ご使用になる条件によっては、電池の消耗が早くなることがあります。

- マイ・エリア警告やミニマムセンス制御は、登録件数の少ない方が、電池の消耗には有利になります。

ローバッテリーの状態では、GPS測位機能は停止しますので、GPSボイス警告をはじめ、GPS測位に関する機能はすべて動作しません。
速やかに、付属のシガープラグコードを接続して、充電しながらご使用ください。

1 GPS測位機能を使う

電源スイッチをONにすると、GPS測位機能もONになります。(GPS測位機能のみOFFにすることはできません)

GPSの電波をサーチしはじめ、アラームランプが青色に点滅します。

サーチが終わり、GPS測位機能が働くと、アラームランプは消灯します。
初めての測位のときは、『ポーン 測位しました』とお知らせします。

サーチ後、約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。

TVによるGPS測位障害について

車載TVなどをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。これは、UHF56チャンネルの受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。ご注意ください。

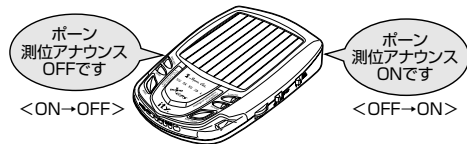
つづく

通常、サーチが終わるまで、約10秒から約3分かかりますが、はじめてのサーチや、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- サーチが終わった後でも、電波を受信できない状態が約5分以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、アラームランプが点滅します。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。
- 本機は、バッテリーセーブのため、オービスまでの距離が離れているときなど、間欠動作で測位を休む場合があります。そのため、トンネルの中や高架の下など、測位できない場所でも、アラームランプが点滅しないことがあります。
- このように、アラームランプが消灯していても、測位できていない場合があります。

≪測位アナウンスのON/OFFのしかた≫

GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーン GPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』をくり返すことがあります。
このようなときは、次のような操作により、測位アナウンスをOFFにすることができます。

① 一旦、電源スイッチをOFFにする。
② マイ・エリアボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。

※ ON⇔OFFそれぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

- 測位アナウンスOFFの場合でも、初めての測位のときは、測位アナウンスを行います。

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…

オービスの種類を識別してボイスで警告します。
[GPSボイス警告/オービス識別ボイス]

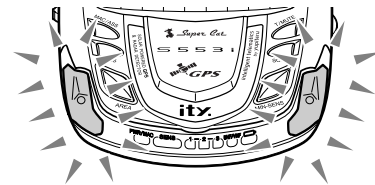
ループコイル式	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に**高速道(一般道)ループコイル式**オービスがあります』
LHシステム	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に**高速道(一般道)LHシステム式**オービスがあります』
新Hシステム	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に**高速道(一般道)Hシステム式**オービスがあります』
レーダー式	『ポーン 右(左)方向1km(500m)先に**高速道(一般道)レーダー式**オービスがあります』

※光電管式は撤去され、オービスは上記4種類になりました。

警告ポイントが約1km以内のときは、「1km先に」→「この先に」とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて「500m先に」→「300m/200m/100m/すぐ先に」のいずれかでお知らせします。

アラームランプが青色に点滅します。

① 約1km～500m手前で、GPSボイス警告し、しばらくの間、青色に点滅します。
② 約500m～直前で、もう一度GPSボイス警告し、しばらくの間、青色の速い点滅をします。
[GPS 2段階警報]

ただし、GPS測位の状況によっては、1回のみの警報になります。

- 本機はGPS警報よりも、取締りレーダー波受信による警報を優先しますので、GPSボイス警告がされなかったり、中断される場合があります。

GPS測位機能について

内蔵メモリーに登録されているオービスポイントに近づくと…(つづき)

GPSボイス警告は、進行方向の道路上に設置されたオービスのみで、反対方向のオービスに対してはボイス警告されません。さらに、進行方向に対して、オービスが右手または左手方向に約25°以上のときは、その方向もお知らせします。**[方向識別ボイス]**

- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは、「右方向」「左方向」の識別はしません。

また、高速道路上に設置されているオービスか一般道路上のものかを識別してお知らせします。**[高速/一般道識別ボイス]**

さらに、トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所※で、出口付近のオービスをボイスで警告します。**[トンネル出口警告]**
『ポーン トンネルの出口付近に高速道(一般道)○○○式オービスがあります』

※GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警告になります。

(フレックスディマーについて)

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて、夜間のランプ類の明るさを抑え、眩しさを防ぎました。

- パイロットランプおよび感度ランプの明るさは変わりません。

GPSゾーン警告&圏外通知について (つづく)

GPSボイス警告は固定設置式のオービスに近づくと警告しましたが、**GPSゾーン警告&圏外通知**では、過去の取締り(トラップ)や検問(チェックポイント)などがよく行われたゾーンが予めメモリーされていて、そのゾーンの1km手前とゾーンの中に入った時、そしてゾーン圏外になった時の3段階でお知らせします。

≪トラップ・ゾーンの場合≫

1km手前…	『ポーン 右(左)方向 1km先に 高速道(一般道) トラップ·ゾーンがあります』 (アラームランプ:青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 右(左)方向に 高速道(一般道) トラップ·ゾーンです ご注意ください 右(左)方向に 高速道(一般道) トラップ·ゾーンです ご注意ください』 (アラームランプ:速い青色点滅) **※トラップ·ゾーンに進入すると、レーダー受信感度はスーパーエクストラモードになります。** (但し、MACシステムがONのとき)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン トラップ圏外になりました』

≪チェックポイント・ゾーンの場合≫

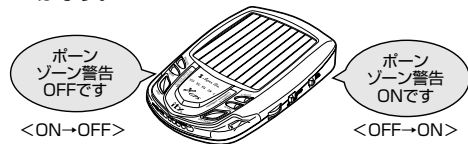
1km手前…	『ポーン 右(左)方向に1km先に 高速道(一般道) チェックポイント·ゾーンがあります』 (アラームランプ:青色点滅)
ゾーンの中に入った時…	『ポーン 右(左)方向に 高速道(一般道) チェックポイント·ゾーンです ご注意ください 右(左)方向に 高速道(一般道) チェックポイント·ゾーンです ご注意ください』 (アラームランプ:速い青色点滅)
ゾーン圏外になった時…	『ポーン チェックポイント圏外になりました』

※トラップやチェックポイントは、過去のデータに基づきメモリーされていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください

≪GPSゾーン警告のON/OFFのしかた≫

GPSゾーン警告を止めたいときは、次のような操作により、GPSゾーン警告をOFFにすることができます。

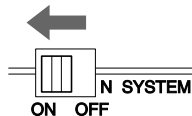
① 一旦、電源スイッチをOFFにする。

② ミニマムセンスボタンを押したまま、電源スイッチをONにし、ボイスが聞こえたらボタンをはなす。

※ON⇔OFFが切り換わり、それぞれ設定したモードをボイスでお知らせします。

GPS告知機能について

GPS測位機能により、予めメモリーされた交通監視システムやNシステムのポイントに近づくと、ボイスでお知らせします。

1 GPS告知機能を使う

Nシステムスイッチを ON にしてください。

● お買い上げ時には、Nシステムスイッチは ONになっています。

※GPS告知機能を使わないときはOFFにしてください。

交通監視システムについて

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。本機では「新型の取締り機ではないか？」といった疑問や不安を持たれないように、スピード取締り機とは区別して、『交通監視システムです』とボイスでお知らせします。

内蔵メモリーに登録されている交通監視システムのポイントに近づくと…

内蔵メモリーに登録されている交通監視システムの約300m手前から通過直前に、『ポーン 右(左)方向 すぐ先に一般道交通監視システムがあります』とボイスでお知らせし、アラームランプがしばらくの間、速い青色点滅をします。[交通監視システム告知]

- 新設の交通監視システムで、未登録の場合は、[交通監視システム告知]はされません。
- 進行方向に対して、左右約25°以内のときは、『右方向』『左方向』の識別はしません。
- 2004年5月現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

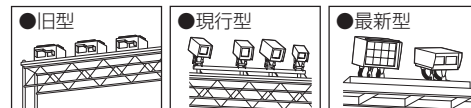
内蔵メモリーに登録されているNシステムのポイントに近づくと…

内蔵メモリーに登録されているNシステムの約300m手前から通過直前に、『ポーン 右(左)方向すぐ先に高速道(一般道)Nシステムがあります』とボイスでお知らせし、アラームランプがしばらくの間、速い青色点滅をします。
[NシステムGPS告知]

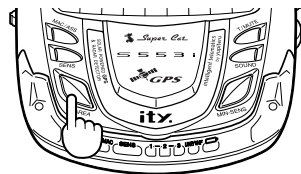
- 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、[NシステムGPS告知]はされません。
- 「NシステムGPS告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。
- 進行方向に対して、左右約25° 以内のときは、『右方向』『左方向』の識別はしません。

●旧型

●現行型

●最新型

マイ・エリア警告の使いかた

1 マイ・エリア登録をする

移動オービスがよく出没する位置や、新たに設置されたオービスポイントなど、自分で登録したい地点でマイ・エリアボタンを押します。

2 マイ・エリア登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをセットしました』とボイスでお知らせします。

■すでにマイ・エリア登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはセットされています』とボイスでお知らせします。

■いったん登録したマイ・エリアを解除(消去)するとき…

マイ・エリア登録されているエリアで、マイ・エリアボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したマイ・エリアをすべて解除(消去)するとき…

マイ・エリアボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン 解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。

- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、マイ・エリア登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

■マイ・エリア登録が30カ所を超えたとき…

マイ・エリア警告された頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

自分で登録したオービスポイントに近づくと…

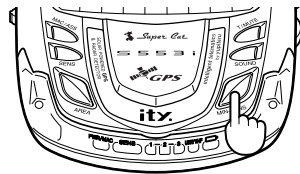
『ポーン 右(左)方向1km(500m)先にセットしたエリアがあります』と約1km〜500m手前と約500m〜直前の2回、ボイスで警告します。このとき、アラームランプは約1km〜500m手前で、しばらくの間、青色点滅します。また、約500m〜直前で、しばらくの間、速い青色点滅をします。

[マイ・エリア警告]

警告エリアが約1km以内のときは、「1km先に」→「この先に」とお知らせし、約500m以内のときは、距離に応じて「500m先に」→「300m/200m/100m/すぐ先に」のいずれかでお知らせします。

MSC/ミニマムセンス制御の使いかた

1 ミニマムセンス登録をする

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー警報がよく鳴るエリアで、レーダー警報を抑えたい地点でミニマムセンスボタンを押します。

2 ミニマムセンス登録を確認する

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアをミニマムセンスにセットしました』とボイスでお知らせします。

■すでにミニマムセンス登録されていたエリアのとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン このエリアはミニマムセンスにセットされています』とボイスでお知らせします。

■いったん登録したミニマムセンス・エリアを解除(消去)するとき…

ミニマムセンス登録されているエリアで、ミニマムセンスボタンを約1秒間押すと、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン ミニマムセンスを解除しました』とボイスでお知らせし、消去します。

■登録したミニマムセンス･エリアをすべて解除(消去)するとき…

ミニマムセンスボタンを約30秒間押したままにすると、『ポーン ポーン ミニマムセンスを解除しました』とボイスでお知らせし、すべて消去します。

• いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。

■GPS電波を受信できず、ミニマムセンス登録できなかったとき…

『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせした後に、※『ポーン GPSを受信できません』とボイスでお知らせします。

■ミニマムセンス登録が30カ所を超えたとき…

ミニマムセンス登録されているエリアへの進入頻度の最も少ないエリアを消去し、新しいエリアを登録します。

※ GPS測位の状況によっては、最長20秒かかる場合があります。また、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしない場合があります。

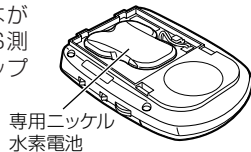
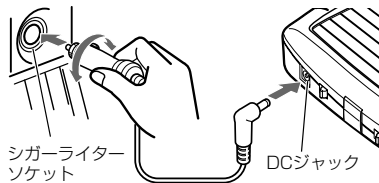
ミニマムセンス登録したエリアに進入すると…

ミニマムセンス登録したポイントから半径約300mのエリアに進入すると、レーダー波の警報レベルをミニマム(最低)にし、不要なレーダー警報を抑えます。
[特許出願中]

GPSボイス警告、トンネル出口警告、マイ・エリア警告はミニマムセンス・エリア内でも警告されます。

ハイブリッド・モードについて

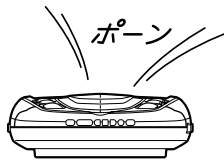
シガープラグコード接続時

本機は、ソーラー充電方式のコードレスモデルですが、付属の専用ニッケル水素電池を接続した状態で、シガープラグコードを接続することにより、バッテリーを充電しながら、次のように、GPS測位機能がグレード・アップします。**[特許出願中]**

ただし、シガープラグコードを接続していても、GPS測位されない状態では、ハイブリッド・モードはOFF(解除)となります。

- 約30秒以上測位されない状態が続くと『ポーン GPSを受信できません』とお知らせし、アラームランプが青く点滅します。その後、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。

1 オービス・ポイント直前告知…

オービス・ポイントの直前で、『ポーン』と音でお知らせします。

- マイ・エリア登録したポイントの直前でも『ポーン』と音でお知らせします。

※GPS測位または走行地点の地理的な状況によっては、『ポーン』と音でお知らせしない場合があります。

ハイブリッド・モード時のアラームランプの点滅について

オービス・ポイントおよびマイ・エリアに近づくと、

① 約1km～500m手前まで点滅(青色)を続けます。
② 約500m手前～直前まで速い点滅(青色)を続けます。

2 AAC/不要警報カット…

MACシステムがON(設定)の場合、内蔵のモーションセンサーによるMACシステムから、GPSの速度検出によるAACシステムに自動的に切り換わります。

走行速度が時速40km以下の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

- GPS測位されない状態では、AACからMACシステムに戻ります。

3 ASS/最適感度選択…

MACシステムがON(設定)の場合、内蔵のモーションセンサーによるASSシステムから、GPSの速度検出によるASSシステムに自動的に切り換わります。

走行速度が時速40km以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

- GPS測位されない状態では、内蔵のモーションセンサーによるASSシステムに戻ります。

走行速度	受信感度	
40km～	ハイウェイモード	スーパー感度
60km～		エクストラ感度
80km～	スーパーエクストラモード	

※ MACシステムがON(設定)のときに、受信感度セレクトボタンを押すと、スーパーエクストラモードとなります。
再度押すと、ASSモードに戻ります。

GPSによるASS機能について

シガープラグコード接続時

パイロットランプの点滅色と警報動作

MACシステムをON(設定)にすると低速走行/停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。［ASS/最適感度選択：特許 第3051676号］

	車の状態	停車〜時速40km（停車・走行中）	時速40km〜時速60km（走行中）	時速60km〜時速80km（走行中）	時速80km〜時速40km（走行中）	時速40km〜停車（走行中・停車）
MACシステムON（設定）時	パイロットランプ	赤色点滅	緑色点滅	緑色点滅	緑色点滅	赤色点滅
	感度ランプ	赤色点滅	オレンジ色点滅	緑色点滅	青色点滅	赤色点滅
	スーパーエクストラモード選択時	青色点滅	青色点滅	青色点滅	青色点滅	青色点滅
	警報状態	警報しない	警報する	警報する	警報する	警報しない
	受信感度		ハイウェイモード（スーパー感度）	ハイウェイモード（エクストラ感度）	スーパーエクストラモード	
MACシステムOFF（解除）時	パイロットランプ	オレンジ色点滅				
	感度ランプ	マニュアルモードで設定した受信感度のランプ色点滅。シティモード（赤色）/ハイウェイ（エクストラ感度）モード（緑色）/スーパーエクストラモード（青色）				
	警報状態	警報する				
	受信感度	マニュアルモードで設定した受信感度				

使いかた／GPS編

取締りレーダー波を受信しにくい場合

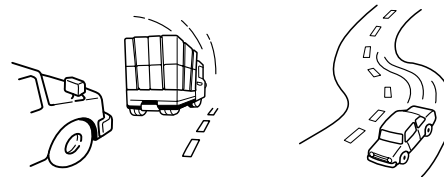
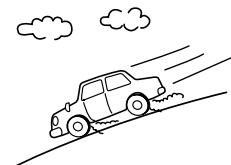
電波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、電波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。

〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕

〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、電波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輌通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

その他

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1.追走して測定する方法

（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。また、カーロケーターシステム搭載車の場合は、カーロケ帯受信機能により、警報することができます。

2.距離と時間で算出する方法

（光電管式、ループコイル式）

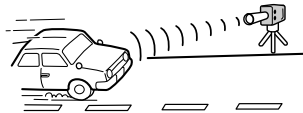
一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。

測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3.電波を使って算出する方法

（レーダー方式）

電波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

※現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流になると思われます。

取締りレーダー波について

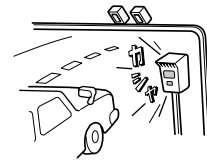
取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。

自動速度取締り機（オービスⅢ）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。

移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

Kバンドについて

Kバンドは、米国ですでに使用されている取締りレーダー波の周波数で、日本国内でも使用される可能性があります。本機は、現在国内で使用されているXバンドに加え、Kバンドも受信できるX・Kツインバンド対応です。

故障かな？と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症　状	チェック項目
電源が入らない	• 電源スイッチがONになっていますか。 • バッテリーが消耗していませんか。シガープラグコードを使って充電してください。 • オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。
充電できない	• 太陽光を充分に当てても充電できないときは、シガープラグコードを使って充電できるか確認してください。 • シガープラグで充電できないときは、シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
MACシステムやASS機能、オートパワーOFF機能が正常に働かない	• ご使用になる車種に合わせてMACレベルスイッチで振動の検出感度を設定してください。振動が極端に大きな車種や、走行中と停車中の振動に違いの少ない車種では正常に働かないことがあります。そのような車種では、MACシステムを解除してご使用ください。また、振動や騒音の激しい場所に駐車するときは、電源を切ってください。 • 警報中は音による振動を感知し、低速走行や停車しても警報が続くことがあります。こんなとき、警報をカットする場合は、テスト&ミュートボタンを押してください。
反応(警報)しない	• 電源が入っていましたか。パイロットランプの点滅を確認してください。 • 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。 • MACレベルスイッチが正しく設定されていますか。パイロットランプが赤色で点滅していませんか。パイロットランプが赤色で点滅しているときは警報しません。MACレベルスイッチを正しい位置に設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 • オートパワーOFF機能が働いていませんか。停車や駐車の状態が約3分以上続くと、自動的に電源が切れます。走行中でもオートパワーOFF機能が働く場合は、MACレベルスイッチを設定しなおしてください。MACレベルスイッチを切り換えても振動を検出しにくい場合は、取り付けかたを変えてみてください。 • 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。(とくにオービスⅢではよくあります) • 取締りが「レーダー方式」で行われていましたか。 • ミニマムセンス登録したエリアではありませんでしたか。

症　状	チェック項目
GPS警報しない	• GPS測位していましたか。 • レーダー警報していませんでしたか。(レーダー警報がGPS警報より優先されます) • 新たに設置されたオービスではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	• ローバッテリーアラームではありませんか。バッテリーランプが点滅しているときは、シガープラグコードを使って充電してください。 • 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ――取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器―― • 電波式の自動ドア、防犯センサー • 信号機の近くに設置されている車輌通過計測機 • NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部 • 気象用レーダー、航空レーダーの一部 • 他のレーダー探知機の一部 • まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなりランプ類も暗くなる	• レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなり、ランプ類も暗くなります。
カーナビゲーションの影響を排除できない	• 自動ドアなどの常に電波の出ている場所でエンジンを始動した場合、GPSを排除できないことがあります。このようなときは、電波の出ていない場所へ移動して、もう1度本機の電源スイッチを入れ直してください。 • 一部のカーナビゲーションシステムにおいては、異常発振等によりGPS排除されないものがあります。あらかじめご了承ください。

故障かな？と思ったら

症　状	チェック項目
ひんぱんにトリプル識別受信する	• 放送局や無線中継局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
NシステムGPS告知しない	• NシステムスイッチはONになっていましたか。 • GPS測位していましたか。 • 新設のNシステムなどで、未登録の場合は、告知されません。 • レーダー警報していませんでしたか。（レーダー警報がGPS告知より優先されます）

仕 様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧　：DC 3.6V
（専用ニッケル水素電池1.2V×3）
DC 12V
（シガープラグ入力充電電圧）

消費電流　：待機時：6mA以下
（UHF/VHF部 OFF時）
最大：190mA以下

受信方式　：［GPS部］
16チャンネル/パラレル受信方式
［レーダー部］
スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式

受信周波数　：［GPS部］1.6GHz帯
［レーダー部］Xバンド/Kバンド
［UHF部］350.1MHz/407.7MHz帯
［VHF部］159～160MHz帯

動作温度範囲：−20℃～+85℃
（GPS部：−20℃～+80℃）
（UHF/VHF部：−10℃～+60℃）

本体外形寸法：78(W)×24(H)×115(D)mm
（電池部除く）

本体重量　：200g（電池含む）

アフターサービスについて

1. 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

2. 保証期間

お買い上げの日から1年間です。

3. 対象部分

機器本体(消耗部品を除く)

4. 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、使用車名(車種)、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

●保証期間中のとき

保証書裏面の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容にしたがって修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

5. GPSデータの更新について

本機にはあらかじめオービス、交通監視システム、Nシステム、トラップおよびチェックポイントのデータが登録されています。

最新データへの更新をご要望される場合、同梱の「ユピテル ity. クラブ」パンフレットおよび申込書をご覧ください。会員になると携帯電話を利用してGPSデータをダウンロードできるサービスが受けられます。

また、従来のお預かり更新サービス(送料別・税込¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日~金曜日10:00~18:00です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

■製品の機能・仕様、取扱方法に関するお問い合わせ　お客様ご相談センター　TEL. (0564)45-5599

■修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

地　区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部　TEL.(011)618-7071 〒060-0008　北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部　TEL.(022)284-2501 〒984-0015　宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部　TEL.(03)3769-2525 〒108-0023　東京都港区芝浦4-12-33　芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・長野	名古屋営業所・サービス部　TEL.(052)769-1601 〒453-0092　愛知県名古屋市名東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部　TEL.(06)6386-2555 〒564-0051　大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部　TEL.(082)230-1711 〒733-0001　広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部　TEL.(092)552-5351 〒815-0032　福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

memo

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
   (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
   (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
   (ヘ) 本書のご提示がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
   (リ) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。